

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-224382

(P2005-224382A)

(43) 公開日 平成17年8月25日(2005.8.25)

(51) Int. Cl.⁷

A44C 5/10

F I

A44C 5/10 511C

テーマコード(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2004-35596 (P2004-35596)
 (22) 出願日 平成16年2月12日(2004.2.12)

(71) 出願人 000135759
 株式会社バンビ
 東京都台東区台東4丁目32番1号
 (74) 代理人 100066290
 弁理士 岩田 享完
 (74) 代理人 100113804
 弁理士 岩田 敏
 (72) 発明者 本多 香
 フラットB, 6F, リロイプラザ, チョン
 シュンストリート, チョーサワン, カオル
 ン, ホンコン ビー・エイチ・ケイ イン
 ターナショナル リミティッド内

最終頁に続く

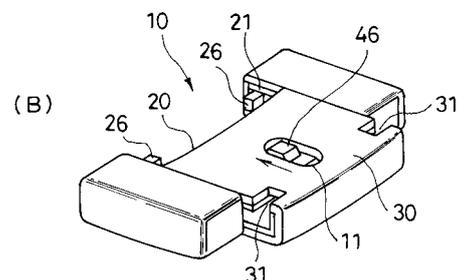
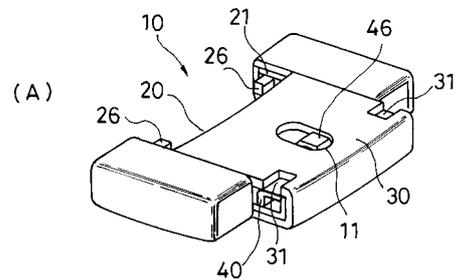
(54) 【発明の名称】 バンドのアジャスト構造及びそれを備えた時計バンド

(57) 【要約】

【課題】 簡単にバンドの長さ調整の行えるアジャスト構造を提供することにある。

【解決手段】 バンド駒の凹凸を組み合わせて構成されるバンドのアジャスト構造であって、凹部20を形成する両内側面21, 21に一对の突起部26, 26を有する。その凹部20に嵌合する凸部30には、突起部26, 26を凸部30内に収納させる開口部31, 31を有する。その開口部31, 31は、バンド駒10内へ組み込まれたスライド部材40をスライドさせることによって開閉される。スライド部材40のスライドは、バンド駒10の外面に形成された長孔11から表出する操作部46によって行われる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バンド駒の凹凸を組み合わせて構成されるバンドのアジャスト構造であって、凹部を形成する両内側面に一对の突起部を有し、その凹部に嵌合する凸部には、前記一对の突起部を凸部内に収納させる開口部を有し、その開口部は、バンド駒外面に操作部を備えてバンド駒内へスライド可能に組み込まれたスライド部材によって開閉されて、前記一对の突起部を着脱自在としたことを特徴とするバンドのアジャスト構造。

【請求項 2】

スライド部材は、バンド駒内に組み込まれた弾性部材によって、開口部を閉塞する方向へ付勢されていることを特徴とする請求項 2 記載のバンドのアジャスト構造。 10

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載のバンドのアジャスト構造を備えた時計バンド

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、バンド駒で構成されるバンドのバンド駒を着脱自在とするアジャスト構造に関するものである。

【背景技術】

【0002】

バンド駒の凹凸を組み合わせて構成されるバンドのアジャスト構造としては、これまで種々のものが存在している。

例えば、特許文献 1 では、凸部と凹部とを備えるバンド駒に連結貫通穴を設けて、その連結貫通穴にアジャストピンを挿入することを基本的構成とするアジャスト構造が開示されている。

【特許文献 1】特開 2000 - 296007 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかし、特許文献 1 のように、バンド駒以外にアジャストピンを必要とするアジャスト構造であると、アジャスト作業が煩雑となる。とくに、近年インターネットショッピングなど店頭販売以外での商品購入が増加してきており、購入者自身でバンドの長さ調整をすることが多くなっている。 30

そこで、購入者自身が簡単にバンドの長さ調整の行えるアジャスト構造を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0004】

上記目的を達成するために、第一の発明は、バンド駒の凹凸を組み合わせて構成されるバンドのアジャスト構造であって、凹部を形成する両内側面に一对の突起部を有し、その凹部に嵌合する凸部には、前記一对の突起部を凸部内に収納させる開口部を有し、その開口部は、バンド駒外面に操作部を備えてバンド駒内へスライド可能に組み込まれたスライド部材によって開閉されて、前記一对の突起部を着脱自在としたことを特徴とするものである。 40

【0005】

第二の発明は、スライド部材が、バンド駒内に組み込まれた弾性部材によって、開口部を閉塞する方向へ付勢されていることを特徴とするものである。

【発明の効果】

【0006】

本発明によれば、次のような効果を有する。

(1) バンド駒外面の操作部を操作するだけで、簡単にバンド駒を取り付け・取り外して 50

きるので、購入者でも無理なくバンドの長さ調整を行える。

(2) スライド部材が、開口部を閉塞する方向へ付勢されているので、みだりに開口部が開口せず、バンドの連結状態が確実に維持される。

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

本発明の実施形態を図面に基づいて説明する。

図1は、本発明のバンドのアジャスト構造を示す説明図である。

バンド駒10は、凹部20と凸部30とを有する。

凹部20には、その凹部20を形成する両内側面21, 21に一对の突起部26, 26を有する。

また、凸部30には、隣り合うバンド駒10の突起部26, 26を凸部30内に収納させる開口部31, 31を有する。

【0008】

開口部31, 31は、バンド駒10内へ組み込まれたスライド部材40をスライドさせることによって開閉される。スライド部材40のスライドは、バンド駒10の外面に形成された長孔11から表出する操作部46によって行われる。

すなわち、図1(A)に示すように、操作部46を凸部30先端側へ操作することで、スライド部材40が凸部30先端側へスライドし、開口部31, 31が閉鎖される。また、図1(B)に示すように、操作部46を凹部20側へ操作することで、スライド部材40が凹部20側へスライドし、開口部31, 31が開口される。

【0009】

図2及び図3は、バンド駒10の分解図である。

バンド駒10は、図2に示すように上から順に、スライド部材40, 底芯50, 中芯55, 面芯a60, 面芯b65、本体カバー70及び弾性部材49よりなっている。

【0010】

スライド部材40は、略T字形をしており、上面に隆起した操作部46を備える。また、左右に張り出した張出部44, 44が、バンド駒10の開口部31, 31を閉塞する。

中芯55は、バンド駒10の凹部20を形成する凹部形成部58に、突起部26, 26を備える。

底芯50, 中芯55, 面芯a60, 面芯b65は、それぞれスライド部材40がバンド駒10内でスライド可能となるように、切り欠き51, 56, 61, 66を備える。

また、本体カバー70には、開口部31, 31を形成する切り溝71, 71、スライド部材40の操作部46を表出する長孔11を備える。

【0011】

図3(A)に示すように、スライド部材40は、バンド駒10の凸部30先端側に垂下する折曲部42を備え、この折曲部42に弾性部材49が当接するようにして、バンド駒10内に組み込まれる。これにより、スライド部材40は、この弾性部材49によって凸部30先端側、すなわち開口部31, 31を閉塞する方向へ付勢されていることになる。

従って、開口部31は、操作部46の操作後、自動的に閉塞されるものとなっている。

【0012】

このように、本体カバー70に、底芯50, 中芯55, 面芯a60, 面芯b65及びスライド部材40と弾性部材49とを組み込んで、これらを被覆するように本体カバー70を折曲して、バンド駒70が完成する。

【0013】

図4は、バンド駒10の連結方法を示す説明図である。

図4(A)に示すように、バンド駒10aは、操作部46を凹部20側へ操作して、開口部31, 31が開口された状態にし、そこにもう一つのバンド駒10bの突起部26, 26を開口部31, 31へ挿入する。そして、図4(B)に示すように、スライド部材40が弾性部材49によって凸部30先端側へ付勢し、自動的に開口部31, 31が閉塞されると、突起部26, 26は凸部30内に収納される。その結果、バンド駒10bがバン

10

20

30

40

50

ド駒 10 a に取り付けられる。

【0014】

また、バンド駒 10 b をバンド駒 10 a から取り外すのも、これと同様である。

すなわち、図 4 (B) に示す状態から、図 4 (A) に示す状態のように、バンド駒 10 a の操作部 46 を凹部 20 側へ操作して、開口部 31, 31 が開口された状態にし、そこからもう一つのバンド駒 10 b の突起部 26, 26 を抜き出す。その結果、バンド駒 10 b がバンド駒 10 a から取り外される。

【0015】

なお、本実施形態では、バンド駒 10 が凹部 20 及び凸部 30 をそれぞれ 1 つずつ有するものとしているが、凹部 20 及び凸部 30 をそれぞれ複数有するものであってもよい。

10

【産業上の利用可能性】

【0016】

本発明は、時計バンドのアジャスト構造の他に、装飾品に使用されるバンドのアジャスト構造など、種々のバンドのアジャスト構造として広く利用できるものである。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図 1】本発明のバンドのアジャスト構造を示す説明図。

【図 2】本発明に係るバンド駒の分解図。

【図 3】本発明に係るバンド駒の分解図。

【図 4】本発明に係るバンド駒の連結方法を示す説明図。

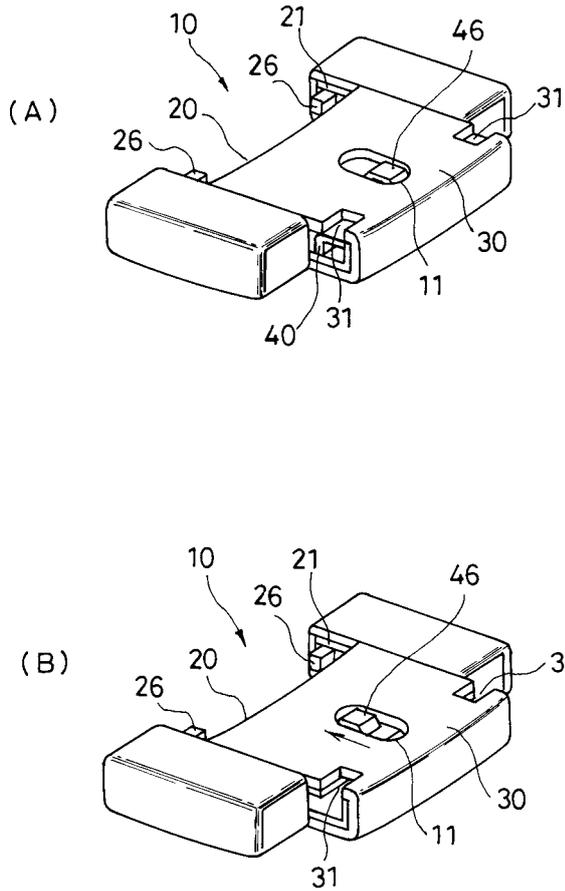
20

【符号の説明】

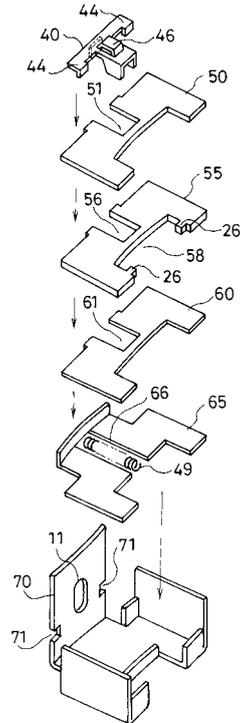
【0018】

10	バンド駒	11	長孔
20	凹部	21	内側面
26	突起部		
30	凸部	31	開口部
40	スライド部材	46	操作部

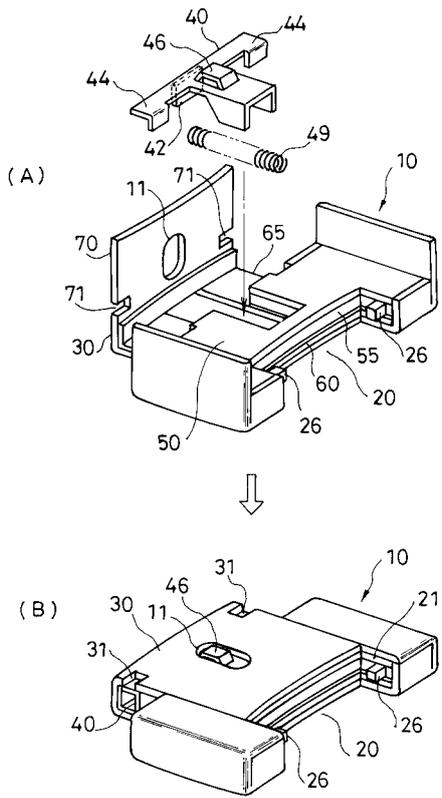
【 図 1 】



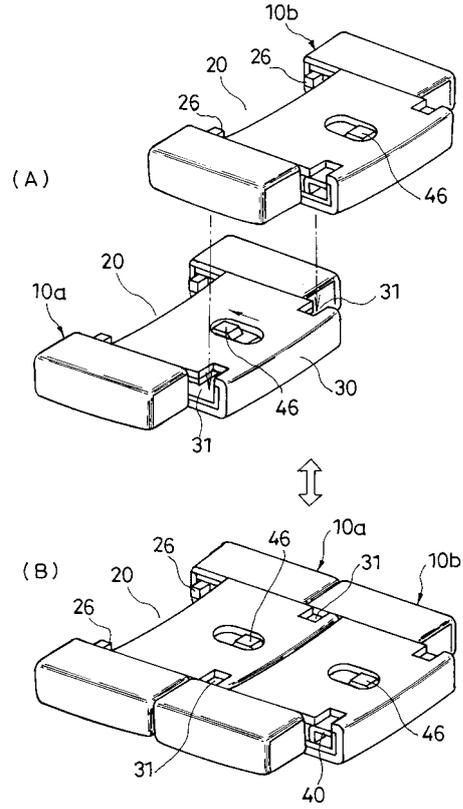
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



フロントページの続き

(72)発明者 黒沼 由佳子

フラットB, 6F, リロイプラザ, チョンシュンストリート, チョーサワン, カオルン, ホンコン
ビー・エイチ・ケイ インターナショナル リミティッド内